

mitsubishi

パッケージエアコン

取扱説明書

汎用パッケージエアコン
水冷形 (MB)

もくじ

	ページ
安全のために必ず守ること	2~4
故障をさけるために必ず守ること	5
各部の名称とはたらき	6
運転温度範囲のめやす	6
ご使用方法	7~9
お手入れ	10
ようすがおかしいとき	11~12
保証とアフターサービス	13~14
別売部品	15
仕様	15



省エネで 守る環境 豊かな暮らし

このたびはパッケージエアコンをお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。





- ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
- お読みになった後は、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- 保証書は、『お買上げ日・販売店名』などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
- お使いになる方が変わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡しください。
- お客さまご自身では、据付・移設をしないでください。(安全や機能の確保ができません。)

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、
▲警告 ▲注意 の表示で区分して説明しています。

▲警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
▲注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの。

■本文中に使われる“凶記号”の意味は次の通りです。

	絶対に行わないでください。
	絶対に触れないでください。
	必ずアース工事を行ってください。
	必ず指示に従い、行ってください。

▲警告

異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切る。

- 異常のまま運転を続けると、故障や火災・感電等の原因になります。お買上げの販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。



小部屋へ据付ける場合は、冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を。

- 万一冷媒が漏洩して限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。限界濃度を超えない対策については、お買上げの販売店にご相談ください。



空気の吹出口や吸込口に指や棒等を入れない。

- 運転中は内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。



禁止

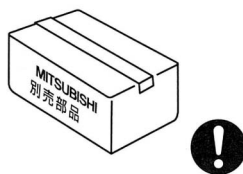
お客様自身で分解・修理・移設はしない。

- 修理・設置等に不備があると、爆発・火災・感電・水漏れ等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。



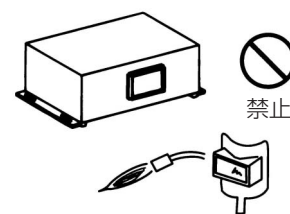
暖房用加熱器などの別売部品は、必ず当社指定の製品を使用し、取付けは専門業者に依頼する。

- ご自分で取付けをされ不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。



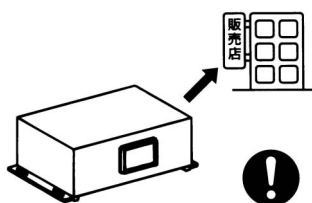
冷媒の加熱にご注意。

- 冷媒が火などに触れると分解して有毒ガスが発生し、ガス中毒の原因になります。エアコン設置の密閉した部屋内で溶接機などを使用しないでください。



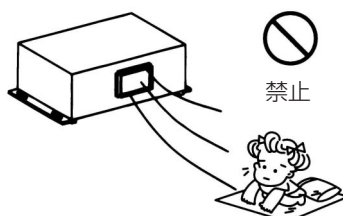
据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。

- ご自分で据付け工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。



長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎたりしない。

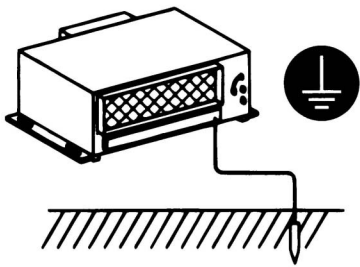
- 体調悪化や健康障害の原因になります。



⚠ 注意

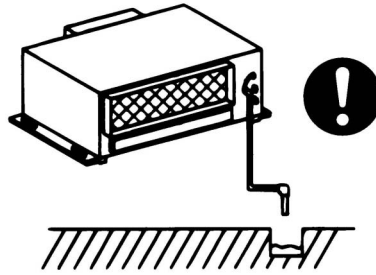
アース工事を行う。

- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースに不備があると、感電の原因になります。



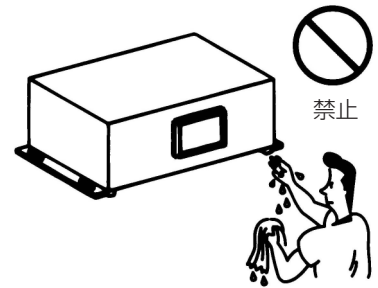
ドレン配管は、据付説明書に従って確実に施工し、結露が生じないように断熱処理をする。

- 配管工事に不備があると、水漏れの原因になります。



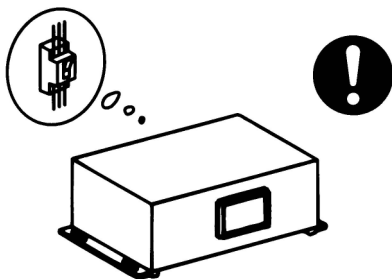
濡れた手でスイッチを操作しない。

- 感電の原因になります。



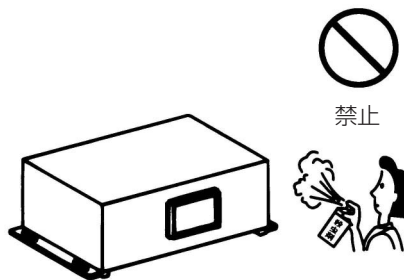
水気のある場所に設置する場合は、漏電ブレーカを取り付ける。

- 漏電ブレーカが取り付けられていないと、感電の原因になります。



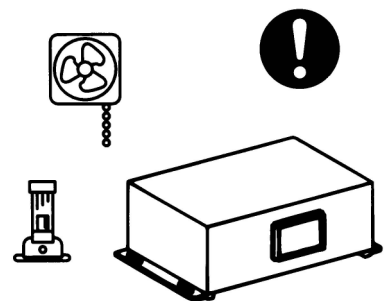
殺虫剤・可燃性スプレー等を製品の近くに置いたり、直接吹きつけたりしない。

- 火災・変形の原因になります。



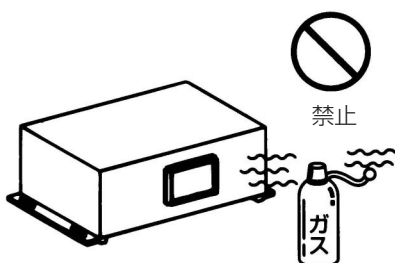
燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。

- 換気が不十分な場合は、酸欠事故の原因になります。



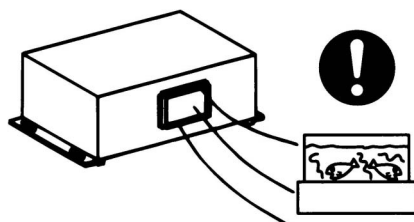
可燃性ガスの漏れるおそれのある場所には設置しない。

- 万一ガスが漏れて製品の周囲に溜まると、爆発の原因になります。



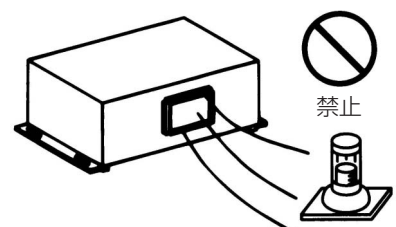
食品・動植物・精密機器・美術品の保存等、特殊用途については、確認の上使用する。

- 本来の用途以外に使用すると、食品の品質低下等の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。



空調機の風が直接あたる所に燃焼器具を置かない。

- 燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。



安全のために必ず守ること

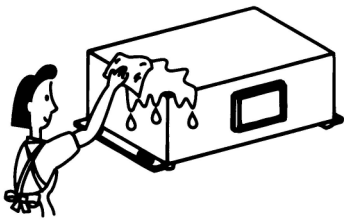
⚠ 注意

製品を水洗いしない。

- 感電の原因になります。

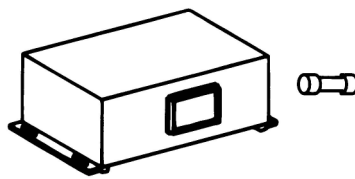


禁止



ブレーカやヒューズは正しい容量のものを使用する。

- 針金や銅線を使用すると火災や故障の原因になります。

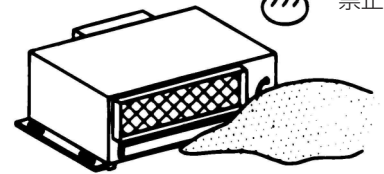


特殊雰囲気中では使用しない。

- 機械油・塩分・湿気・粉塵の多い所、温泉地帯、硫化ガス・揮発性ガス・腐食性ガス等が充満している所、高周波加工機の近くなどに設置すると故障の原因になります。



禁止

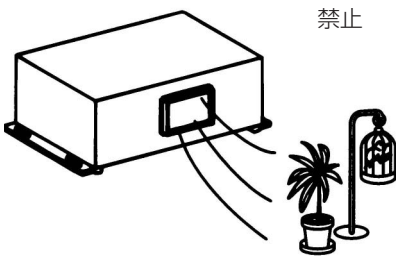


空調機の風が直接あたる所に動植物を置かない。

- 悪影響を及ぼす原因になります。



禁止



製品内の金属エッジに素手で触れない。

- ケガの原因になります。



禁止



圧縮機や冷媒配管などに素手で触れない。

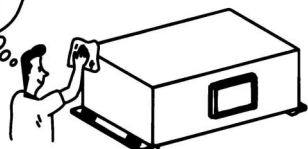
- 冷媒の状態により、高温あるいは低温になり、火傷・凍傷の原因になります。



禁止

掃除をする時は、運転を停止し、電源スイッチを切る。
(電源プラグ付きの製品は、プラグを抜く。)

- 運転中は内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。



エアコンを数シーズン使用した場合は、通常のお手入れとは別に点検整備を行う。

- 室内機の内部にゴミやほこりがたまって、においが発生したり、除湿水の排水経路を詰まらせ、室内機からの水漏れの原因になることがあります。点検整備には専門の知識と技術が必要です。お買上げの販売店に依頼してください。



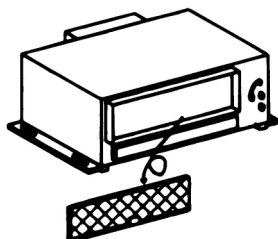
点検整備

故障をさけるために必ず守ること

使用上のお願い

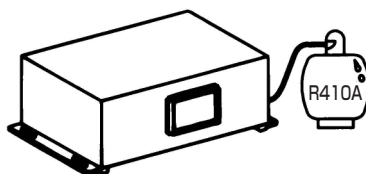
エアフィルタを外したまま使用しない。

- 内部にゴミがつまり、故障の原因になります。



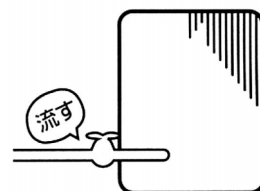
冷媒回路内に指定冷媒(R410A)以外の物を混入させない。

- 空気などが混入すると、破裂や故障の原因になります。



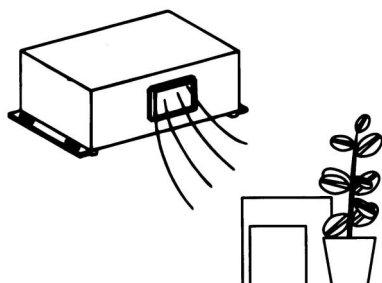
循環水が止まっている時は、運転スイッチを入れない。

- 保護装置が作動しユニットは停止しますが、繰り返し運転操作をすると故障の原因になります。



吹出口・吸込口の近くに物を置かない。

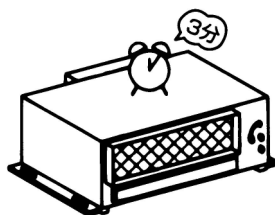
- 能力低下や故障の原因になります。



運転停止して再運転するときは、3分以上経過してから運転スイッチを入れる。

- 3分以内の発停を繰り返すと、故障の原因になります。

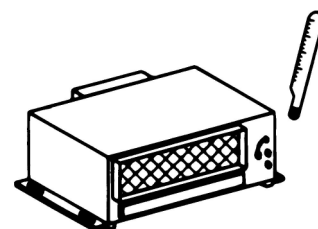
【MT形では、3分以内の発停時、約3分間はエアコンを保護するため送風運転となります。】



循環水は適温を保つ。

- 循環水が適温でない時、ユニットが停止することがあります。また、繰り返し運転操作をすると故障の原因になります。

【最適出口水温は冷房専用形で35℃です。詳しくはお買い上げの販売店にお問合わせください。】

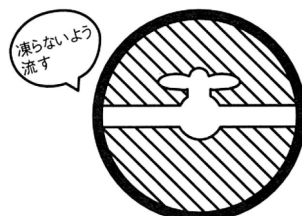


使用温度範囲を守る。

- 範囲外で使用すると故障の原因になります。
(6ページをご覧ください。)

循環水を凍結させない。

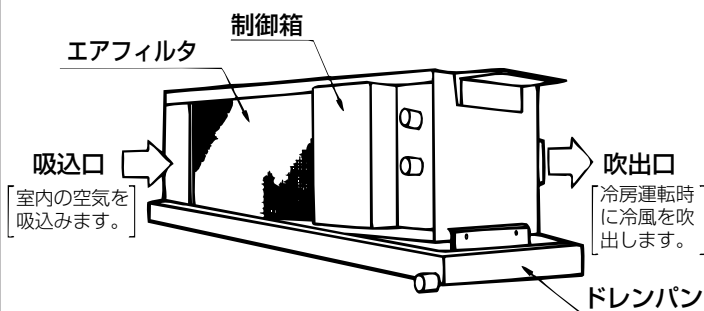
- 冬期凍結するおそれのあるときは、循環水を流し続け凍結を防いでください。凍結して循環水が停止、または補助熱源が入らないまま繰り返し運転操作をすると故障の原因になります。



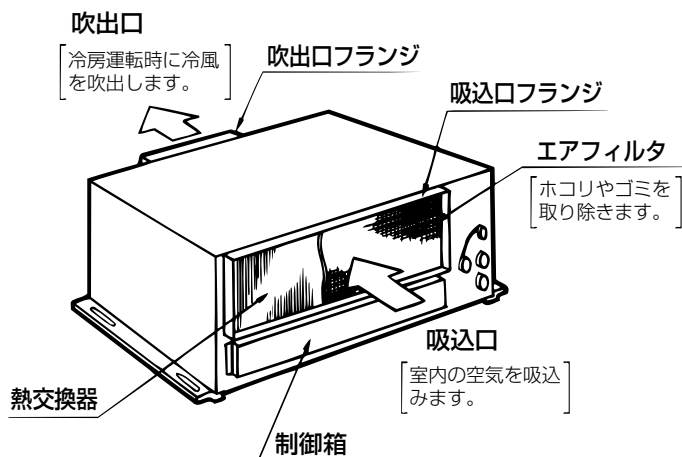
各部の名称とはたらき

本体部分

MB-P36,P50WT/MTの場合



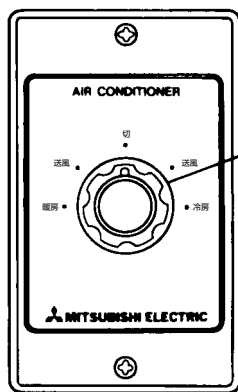
MB-P100,P170WT/MTの場合



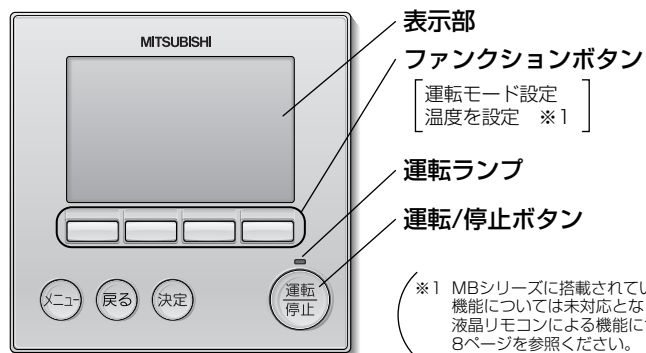
操作スイッチ部分

WT形 (別売部品)

下の図は操作スイッチの一例を示します。
ここでエアコンの運転操作を行います。



MT形 (別売部品) 下図はPAR-30MA



運転温度範囲のめやす

運転温度範囲のめやす

- 風量・水量にも制限があります。
- 風量・水量によって運転温度範囲が変わる場合があります。(詳細はお買上の販売店にご相談ください。)

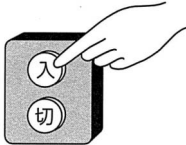
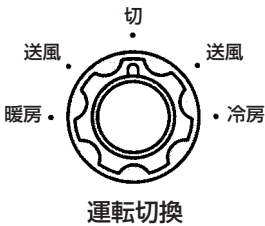
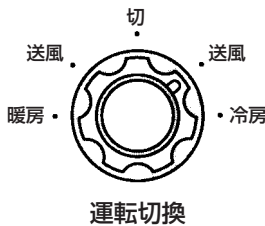
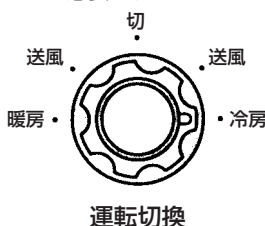
※下表に示す温度範囲でご使用いただけますと共に室内の相対湿度は35～80%の範囲内でご使用ください。

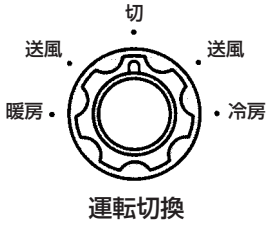

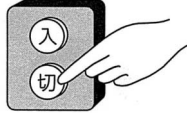
室内吸込湿球温度(℃)	入口水温(℃)
15.0～24.0	18～35

ご使用方法

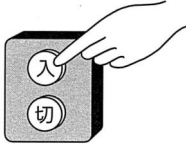
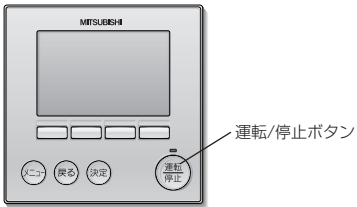
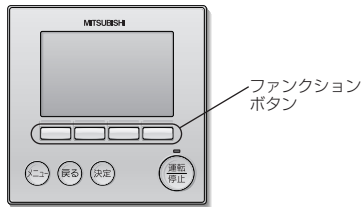
ふだんのお取扱い

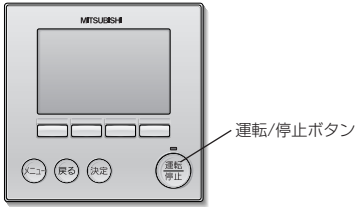


WT形

運 転	<p>1 クーリングタワーまたは井戸ポンプの電源を入れる。</p> 	<p>2 運転停止の状態です。</p> 	<p>3 送風運転が行われます。</p> 	<p>4 暖房は左へ、冷房は右へ回します。 ●暖房運転を行う場合、15ページの別売部品が必要です。</p> 
	<p>5 このエアコンには、温度調節器が取り付けられていません。温度調節を行おうとする場合は、次の部品を取付けてください。詳しくはお買上げの販売店へご相談ください。(現地手配)</p> <p>温度調節器、電磁弁（冷房のみの場合は不要） 温度調節器が取付いていませんと、冷暖房とも連続運転となります。</p>			

停 止	<p>1 運転スイッチを「切」にします。</p> 	<p>2 電源開閉器のスイッチを切ります。</p> 	<p>3 クーリングタワーまたは井戸ポンプの電源を切ります。</p> 
	<p>●停電などで運転が停止した場合、いったん運転スイッチを切り、停電が回復したとき、改めて操作を始めてください。</p>		

MT形

運 転	1 クーリングタワーまたは井戸ポンプの電源を入れる。	2 液晶リモコンの「運転/停止」ボタンで運転が行われます。	3 運転モードの選択、設定温度の設定はファンクションボタンにて行います。(PAR-30MAの場合)
			
<p>●温度調節は、リモコンに内蔵の温度センサを使用し行います。</p> <p>(吸込ダクト利用時は、ユニット本体の温度センサを使用することもできます。 ※ユニットの制御基板の設定変更が必要となります。本体ユニットの据付工事説明書を参照ください。)</p>			

停 止	1 液晶リモコンの「運転/停止」ボタンで停止します。	2 電源開閉器のスイッチを切ります。	3 クーリングタワーまたは井戸ポンプの電源を切ります。
			
<p>●停電などで運転が停止した場合、停電が回復したとき、自動復帰で運転を行います。</p>			

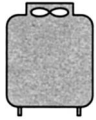
■リモコン機能表

機 能	設定	表示	内 容						
運転/停止	○	○	運転/停止の切換ができます。						
運転モード切換	○	○	冷房/送風/暖房の切換が可能。(暖房は温水コイル対応時となります。)						
室温設定	○	○	下記の範囲で温度設定が可能。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="text-align: center;">冷房運転時</td> <td style="text-align: center;">暖房運転時</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設定温度範囲</td> <td style="text-align: center;">19℃～30℃</td> <td style="text-align: center;">17℃～28℃</td> </tr> </table>		冷房運転時	暖房運転時	設定温度範囲	19℃～30℃	17℃～28℃
	冷房運転時	暖房運転時							
設定温度範囲	19℃～30℃	17℃～28℃							
風速設定	×	○	風速は、1速となります。						
手元操作への禁止/許可	×	○	集中コントローラからの設定により、運転/停止、運転モード、設定温度、フィルターリセットの操作が禁止されます。 *禁止中は「集中管理」が点灯。						
運転モードの切換制限	×	○	集中コントローラからの設定により、モード切換の操作禁止。						
異常表示	—	○	現在発生している異常内容を、アドレスとともに表示。						
タイマー運転	○	○	週間スケジュールタイマー対応 (PAR-30MAの場合のみ) 簡易タイマー/消し忘れタイマーの何れかを使用可能。 ・簡易タイマー：ON/OFFを1回行うタイマー ・消し忘れタイマー：運転後に一定時間経過すると停止するタイマー						
温度設定範囲制限機能	○	○	初期設定により、室内設定の温度範囲を制限することが可能。						
操作制限機能	○	○	リモコンスイッチの操作ロックの設定/解除が可能。 運転停止、運転モード、設定温度のそれぞれをロック (PAR-30MAの場合) ・全スイッチロック、または運転/停止スイッチ以外のスイッチロック (PAR-24MAの場合)						

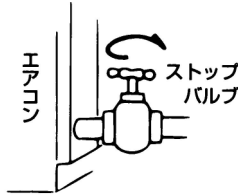
※ ○：グループ別操作 / ×：対応不可

シーズンはじめ ・ 設置後初めて運転する場合も同様です。

- 1** クーリングタワーの水槽部分を清掃します。



- 2** 循環水配管のストップバルブを開きます。



- 3** クーリングタワーまたは井戸ポンプの電源開閉器を入れ、循環水が流れていることを確かめてください。
暖房時（別売部品の温水ヒータを取付けた場合）ボイラまたは温水器の電源を入れ、温水が流れていることを確かめてください。



- 4** 電源開閉器のスイッチを入れます。
(前パネルを必ず取付けてから電源を入れてください。)

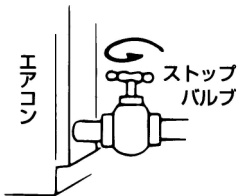


シーズンおわり ・ 長時間使用しない場合も同様です。

- 1** 電源開閉器のスイッチを切ります。

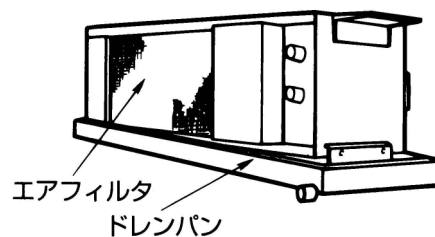


- 2** 循環水配管のストップバルブを閉じます。

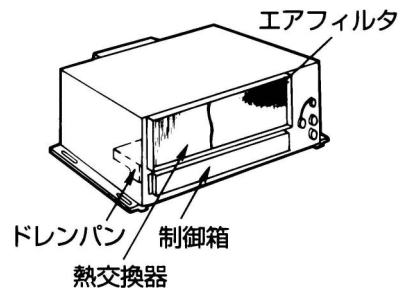


- 3** エアフィルタの清掃及びドレン排水を確認します。

MB-P36,P50WT/MTの場合



MB-P100,P170WT/MTの場合



〔エアフィルタの清掃は、10ページをご覧ください。〕

●お買上げ店にご相談のうえ、循環水のお手入れも心がけてください。

お手入れ

⚠ 注意

掃除をするときは運転を停止し、電源スイッチを切る。
運転中は内部でファンが高速運転しており、ケガの原因になります。

⚠ 注意

製品内部の金属エッジに素手で触れない。
熱交換器などに触れると、ケガの原因になります。

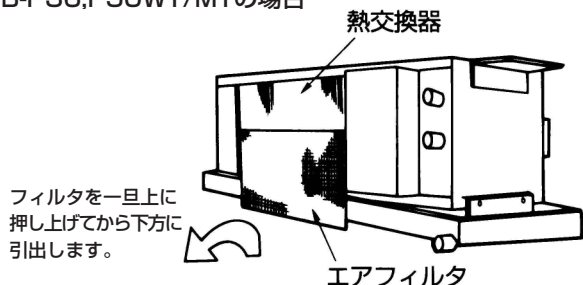
エアフィルタの清掃

- ・1週間に1度が清掃の目安です。
- ・エアフィルタにゴミがたまると、冷暖房能力の低下や故障の原因になります。

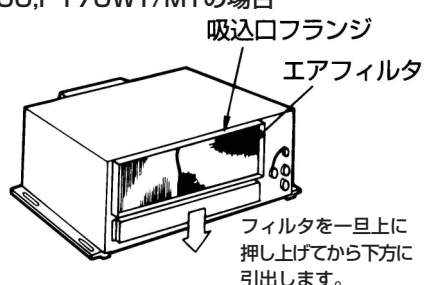
1 エアフィルタを取り外す。

フィルタは通常室内ユニットの吸込口側に取付けてあります。
取付位置と取外し方法については販売店などに確認してください。
室内ユニットの吸込口側に取付けている場合は、下図を参照してください。

MB-P36,P50WT/MTの場合



MB-P100,P170WT/MTの場合



2 取外したエアフィルタのホコリを掃除機で吸取るか、水洗いする。

- 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗ってください。
- 50℃以上の熱いお湯をかけないでください。変形することがあります。
- もみ洗いや強く絞ることはさけてください。
- すすぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。



3 水洗いしたときは、日陰でよく乾かす。

直射日光や直接火に当てて乾かさないうでください。変形・変色することがあります。

4 エアフィルタを元どおりに取付ける。

パネルの清掃

中性洗剤をやわらかな布にふくませ
て拭き、最後に乾いた布で洗剤が残
らないように拭きとります。



ベンジン・シンナーは使用
はさけてください。



冷却水の入替え

クーリングタワーをご使用の場合、冷却水を
定期的に入れ替えるか、水処理剤を使用し
てください。とくに大都市や工場地域などでは、
冷却水は汚染されやすく、そのまま放置する
と水側熱交換器や水配管を腐蝕して、故障の
原因となります。

なお、冷却水の水質基準は、日本冷凍空調工業会標準規格JRA-GL
-02-1994に定められた水質基準値以下となるようにしてください。
くわしくは、お買い上げ販売店にご相談ください。



水側熱交換器の洗浄

長期間ご使用になりますと、水側
熱交換器に水アカ、コケなどがつ
き、機能を損ないます。1シーズ
ンに1回程度(水質の悪い所では
回数を多くして)、お買い上げ販
売店にご相談の上、水側熱交換器
を洗浄してください。
洗浄しないと腐食の原因となり
ます。



ようすがおかしいとき

ようすがおかしいとき

症 状	対象機種	原因・確認事項	処 置
エアコンの風がおう。	全機種	壁や家具などにしみ込んだにおいを吸い込んで、風を吹き出すためです。	故障ではありません。そのままお使いください。ただし焦げ臭いなど異常なおいがする場合は、運転を停止しお買上げ店にご連絡ください。
”ピシッ”という音がする。	全機種	温度変化でパネルなどが膨張・収縮してこすれ合う音です。	故障ではありません。そのままお使いください。
”プシュッ”という音がする。	全機種	エアコン内部の冷媒の流れが切り換わるときの音です。	故障ではありません。そのままお使いください。
水の流れるような音がする。	全機種	エアコン内部の冷媒が流れている音です。	故障ではありません。そのままお使いください。
送風機・圧縮機のどちらも動かない。	全機種	停電ではありませんか。	運転スイッチを『切』にして電源が回復するのを待ちください。MT形では復電後、自動復帰し、運転を再開します。
	全機種	ノーヒューズブレーカまたはヒューズが切れていませんか。	ブレーカを入れるかヒューズを交換してください。
	全機種	電源電圧が適正ですか。	電力会社にご連絡ください。
送風機がまわりますが圧縮機が運転しない。	全機種	温度調節が適切になっていますか。	温度調節を確認して設定温度を調節してください。
	全機種	運転温度範囲外ではありませんか。(6ページ)	運転できません。
	MT形	停止後、すぐに運転ボタンを押していませんか。	約3分間お待ちください。エアコンを保護するため止まっています。
圧縮機が動くがすぐ止まる。	全機種	空気の吸込口・吹出口をふさいでいませんか。	障害物を取り除いてください。
	全機種	循環水が流れていますか。	クーリングタワーまたはポンプの電源を入れてください。バルブが閉じていれば開いてください。

ようすがおかしいとき

症 状	対象機種	原因・確認事項	処 置
よく冷えない。 暖まらない。	全機種	空気の吸込口・吹出口を ふさいでいませんか。	障害物を取り除いてください。
	全機種	エアフィルタが汚れて いませんか。	清掃・交換してください。(10ページ)
	全機種	窓や扉が開いていま せんか。	閉めてください。
	全機種	温度調節が適切になっ ていますか。	温度調節を確認して設定温度を調節し てください。
リモコンに エラーコードが 表示される。	MT形	空調機に障害が発生し運 転を継続できずに停止し ています。	エアコンの電源を切り、お買い上げ店 にリモコンの表示内容を連絡してくだ さい。 ※自分では絶対に修理しないでください。

原因・確認事項に従って処置を実施しても
正常に戻らない場合は、
お買い上げ店へご連絡ください。



保証とアフターサービス

■保証書は本ユニットに添付しております。

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■機器予防保全の目安 **【保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】**

下記は、以下のご使用条件の場合です。

- ①頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）
- ②製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
- ③温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
- ④電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）
- ⑤振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
- ⑥塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
- ⑦頻繁な発停のある場合、運転時間が長い場合。（24時間空調等）

表-1. 「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モータ (ファン、ルーバ、ドレンポンプなど)		20,000時間	バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサ (サーミスタ、圧力センサなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

本表にはMBIに使用していない部品も含めて記載しています。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）の為に役立ててください。また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。

●補修用部品の保有期間について

このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は経済産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用部品を調達した上修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。

■消耗部品の交換周期目安 **【交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。】**

表-2. 「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルタ	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
高性能フィルタ		1年	加湿エレメント		5年
ファンベルト		8,000時間	クランクケースヒータ		8年
平滑コンデンサ		10年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

本表にはMBIに使用していない部品も含めて記載しています。

注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）の為に役立ててください。

■アフターサービスご契約のおすすめ

●当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事が出来ます。

■保証書について[保証期間は、お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

- 保証書はお買上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中、万一故障した時は、お買上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。[保証期間経過後の修理は有償になります。]
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。
- 良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客さまに実施していただく日常点検（フィルタ清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」及び定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■移設および廃棄について

- 転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。
- エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

別売部品

別売部品

●温水ヒータ【全機種】

温水ボイラなど温水の供給設備がある場合、温水ヒータを組込むと、温水暖房ができます。

●リモートコントローラ

遠隔操作するとき、ご利用ください。

仕 様

製品仕様表

50/60Hz

項目 \ 形名		MB-P36WT・MT	MB-P50WT・MT	MB-P100WT・MT	MB-P170WT・MT
冷房能力 (kW)		3.2/3.6	4.5/5.0	9.0/10.0	15.0/17.0
電 源		三相200V50/60Hz			
圧縮機出力 (kW)		0.75	1.1	2.2	3.7
冷 媒	種 類	R410A			
	封入量(kg)	0.64	0.72	1.41	1.97
送風装置	風量(m ³ /min)	11.0/13.0	13.5/14.5	30	37/39
	標準機外静圧 (Pa)	30/30	30/30	80/120	85/140
	送風機出力(kW)	0.03	0.03	0.2	0.2
冷却水	入 口 水 温 (°C)	30			
	水 量(m ³ /h)	0.69/0.79	0.97/1.10	1.9/2.2	3.2/3.7
	水 圧 損 失(kPa)	5/6	11/12	20/28	25/34
外形寸法	高さ×幅×奥行(mm)	WT形：417×918×528 / MT形：417×918×593		550×1200×610	570×1200×610
製品質量 (kg)		WT形：52 / MT形：54	WT形：56 / MT形：58	WT形：134 / MT形：136	WT形：155 / MT形：157

電気特性は製品に貼付してあります製品名板をご覧ください。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後9年です。



ご使用の際、このようなことはありませんか？

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水が漏れる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくとう便利です。

お買上げ店名

電話

お買上げ(据付)日

年

月

日

三菱電機冷熱応用システム株式会社

〒640-8686 和歌山市手平6丁目5番66号

(三菱電機(株)冷熱システム製作所内)

TEL 073-422-8333

FAX 073-436-6540